

コロナ禍におけるイベント開催 感染対策の目安（山口モデル） ～ 警戒レベル判定と公表について ～

【警戒レベルの判定について】

警戒レベルですが感染状況を3段階にわけてレベルを設定。

「高」・・・市内で感染者(感染経路不明)が複数発生して間もない状況で、感染線経路が特定できていない状況

「中」・・・「高」の感染者の感染経路が特定され濃厚接触者のPCR検査が完了して、市中感染拡大の懸念が無いと判断できた時点

「低・予防警戒」・・・「高」で感染者の判明後、市中感染拡大の懸念が無い状況が確認され、かつ、最初の感染確認から概ね10日間程度（注：国の「新型コロナウイルス感染症 診療 の手引き 第2.2版」を引用）経過し、感染者が発生していない状況。

【警戒レベルの判定作業と公表】

①会議所と市交流創造部が市中の感染者状況を把握。

→ ② ①で得た情報をもとに会議所企画推進部と市経済産業部および交流創造部の各担当者により警戒レベルを判定。

→ ③ ②で判定した情報を会議所HPに掲載し公表。

→ ④山口市内イベント主催者は、③で公表された警戒レベルをもとに感染対策をチェック・準備し、採算や住民対策を検討しイベント開催を判断する。